

バチカンは、大切な日本の友人の皆さんに特別な友情を示すため、困難に寄り添う伝統的な精神と共に、このコンサートプロジェクトに参加します。日本においても多くの皆さんの参加を希望します。
フランチェスコ・モンテリーズ枢機卿

岡崎 ゆみ (ピアノ)



東京藝術大学卒業、同大学院修了、ピアノ専攻。大学院修士課程2年目の1983年にハンガリー給費留学試験に最優秀で合格し、ハンガリー国立リスト音楽院に留学。Z・コーネル、F・シャンドールの他、マスタークラスにてゾルタン・コチシュ、オキサナ・ヤブロンスカヤ、ジョルジュ・シェバークに師事。1986年朝日新聞主催第5回「新人音楽コンクール」ピアノ部門に優勝。文部大臣賞を受賞。1989年にキングレコードよりデビュー CDを発売、その後ソニーレコードからCDを発売、全国でのソロ公演、室内楽、オーケストラ協演を行っている。NHK「おしゃれ工房」、テレビ朝日「USA エクスプレス」を始め多くのテレビ・ラジオ番組で司会を務めた。また、妊婦・乳幼児に向けたコンサートやお芝居仕立ての「音符物語」など、子供に向けたクラシック演奏の活動も多い。紀尾井ホールをはじめ毎年テーマを決めたソロリサイタルを開催している。2019年にはカーネギーホール公演で満席に近い現地の聴衆から大きな拍手が送られた。日本演奏連盟正会員、全日本ピアノ指導者協会正会員。ソニー教育財団評議員。

池田 理代子 (漫画家・声楽家)

東京音楽大学声楽科卒業。1972年「週刊マーガレット」にて連載を始めた「ベルサイユのばら」の大ヒットで、アニメ化、映画化、舞台化され、世界中で劇画家として知られる。そのほかには「オルフェウスの窓」、「栄光のナポレオン・エロイカ」など傑作を生みだし、それらは世界で愛読されている。45歳の時に幼いころからの夢だった歌手の道に進むことを決意し、東京音楽大学に入学、世界的ソプラノ、東敦子のもとで研鑽を積んだ。歌手としての活躍も華々しく、「第6回バチカンより日本へ祈りのレクイエム」聖マリア・マッジョレ大聖堂公演にも出演した。フランス政府よりレジオン・ドヌール勲章シュバリエ章を授与。

藪田 翔一 (作曲家)

2011年東京音楽大学大学院作曲科修了。第70回ジュネーヴ国際音楽コンクール作曲部門優勝。ウィーンコンチェルトハウス100周年作曲賞最優秀作品賞。文化庁長官表彰(国際芸術部門)第26回出光音楽賞。2018年には小倉百人一首100首を歌曲として作曲し、全音楽出版より歌曲集「小倉百人一首」が出版される。2019年にはNHK交響楽団、いずみシンフォニエッタ大阪等からの委嘱作品が初演され、今最も注目されている作曲家の一人である。

さかもと 未明 (歌手/アーティスト)

1989年漫画家デビュー。忽ち人気を博すも、活動最盛期の2006年に難病である膠原病を複数発症。余命宣告を受けるまでに悪化した。漫画家でありながら手が動かなくなったが、「死ぬまで表現者でありたい」と2009年歌手でデビュー。その後、病状悪化で約6年間休業したが、2017年、銀座の老舗・吉井画廊で画家デビュー。2018年3月には、バチカンの四大聖堂の一つ聖マリア・マッジョレで、拉致被害者の帰国を祈るオリジナル曲「青い伝説」を歌唱、歌手としても復帰。2020年サード・アルバム「Moulin Rouge」発売。2021年サロン・ドートンヌ入選。パリ個展。画家として、歌手として、世界へと真摯なメッセージを発信している。



ミリアム・スカルチェッロ (シンガーソングライター)

イタリア、レッジョ・カラブリア国立音楽院を卒業し、教鞭も取った。Raiイタリア国営放送によって生中継された第一回美声コンクールに優勝し、Raiイタリア国営放送の音楽番組など多数出演する。レッジョ・カラブリア、アマルフィ、ナポリ、シチリア、ローマなどで行われる多くのフェスティバルには、欠かすことのできない存在となっている。彼女の語りと歌と音楽は、南イタリア人が決して忘れることのできない南イタリアの土壌の香りと故郷の味を感じさせる、唯一のシンガーソングライターといえる。



堤 貴恵 (メゾソプラノ)

東京都出身。18歳より声楽を学ぶ。東京音楽大学声楽科卒業。桐朋学園短期芸術大学科目等履修生。東京音楽大学オペラ「コン・ファン・トゥッテ」ドラベッラ役、トリノ王立歌劇場来日公演オペラ「ラ・ボエーム」、小澤征爾音楽塾オペラプロジェクトXIオペラ「蝶々夫人」、2013年サイトウキネン・フェスティバルでオペラ「こどもと魔法」(小澤征爾指揮)などに出演。声楽を成田絵智子、経塚廉彦、舞台学を蛸川幸雄、鴻上尚史に師事。



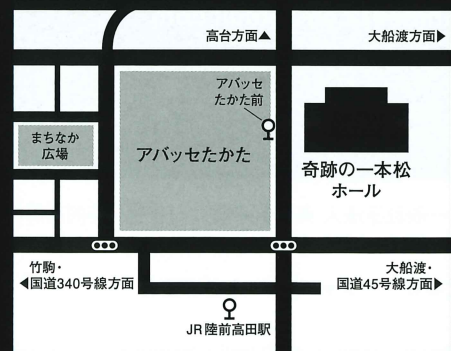
榛葉 昌寛 (テノール)

東京藝術大学卒業後、国際ロータリー財団奨学生として国立ミラノ・ヴェルディ音楽院にて学ぶ。テラモ市立劇場での「椿姫」アルフレード役にてデビューし、その後オペラ、コンサート活動はイタリアのみならずヨーロッパ、アメリカ、カナダなど華々しい。'13年より毎年「バチカンより日本へ祈りのレクイエム」を総合プロデュースし、東北音楽復興支援をしている。'13年天皇賞(秋)、'15年プロ野球日本シリーズ初戦、'18年日本シリーズと2度の国歌独唱は大絶賛された。掛川市・ペーザロ市の姉妹都市提携にも尽力し、輝け掛川応援大使にも任命されている。http://www.masahiroshimba.com



村田 孝高 (バリトン)

国立音楽大学声楽科卒業。二期会オペラスタジオ・マスターコース第46期修了。藤原歌劇団正会員。'01年イタリア声楽コンクール・シエナ部門入選。日本、イタリア、スロベニア、スペイン、フランスなどで、オペラやコンサートに活躍中。日本では数少ない演技派のバリトンとして評価が高い。サントリーホールにおける小林研一郎氏指揮「第九」をはじめ、ロッシーニ歌劇場とバチカンでのモーツァルト「レクイエム」、ロッシーニ「荘厳ミサ曲」、「17年ロッシーニ歌劇場管弦楽団来日公演のすべてで、ソリストを務める。'21年、フィンランドでの初演オペラ「眠る男」でタイトルロールを演じた。http://baramyu-manatsu.sblo.jp/



陸前高田市民文化会館 奇跡の一本松ホール

〒029-2205
岩手県陸前高田市高田町字館の沖302番地3
TEL.0192-22-9666

【アクセス】
BRT大船渡線「陸前高田駅」下車 徒歩1分
岩手県交通バス「アパッセ たかた前」下車 徒歩1分

〈ホール内彫刻作品〉眞壁廉 (彫刻家)